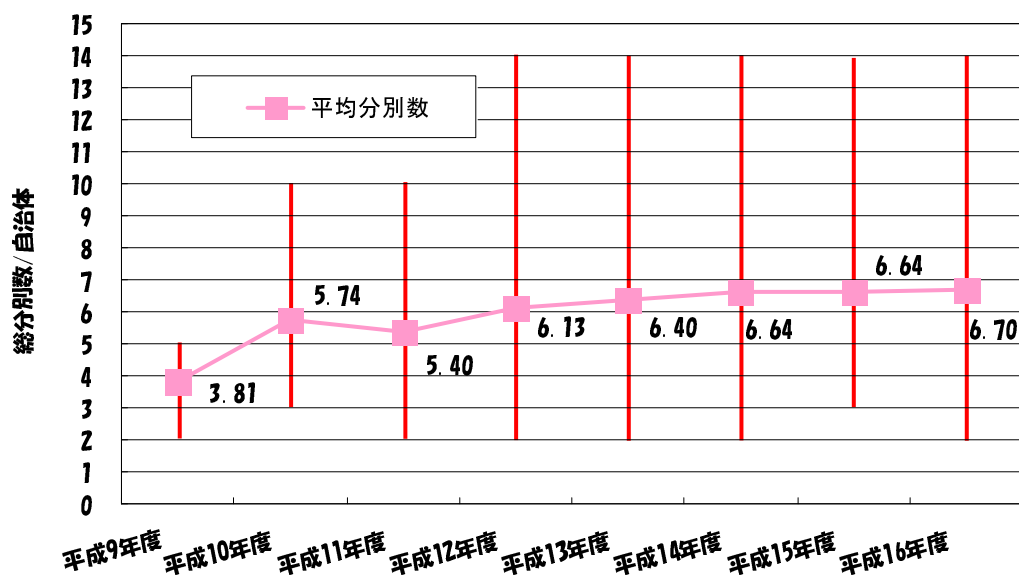


第5章 市町村の取組み

家庭から出されるごみ（一般廃棄物）の処理は、廃棄物処理法により市町村の責務とされています。各市町村では、それぞれの実情に合わせて、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び各種資源ごみを収集し、ごみの減量とリサイクルの推進に努めています。また、古紙などの集団回収に対する報奨金制度及び家庭用生ごみ処理機やコンポスト化容器購入に対し助成を行うことにより、住民によるリサイクル活動を支援し、さらに不用品の再使用を図るフリーマーケットなどの環境イベントを開催し、リサイクル等の普及啓発を行っているところもあります。

1. 分別数の推移

県内1市町村当たりの分別数（平均分別数、最大分別数、最小分別数）を示します。



1 市町村当たりの分別数

※数字は、平均分別数

※縦棒の上端は最大分別数を示し、下端は最小分別数を示します。

2. 集団回収報奨金制度等実施市町村数

各種制度（事業）	市町村数
集団回収報奨金制度	25
生ごみ処理機購入助成制度	21

（平成18年度）

(参考)

(1) 市町村別分別収集数

「○」：収集している、「×」：収集していない、「△」：一部収集

市町村名	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ（容器包装リサイクル法）										粗大ごみ	有害ごみ※	適正処理困難物※	特別管理一般廃棄物※
			無色ガラス	茶色ガラス	その他ガラス	その他紙	ペットボトル	その他プラスチック※	アルミ缶	スチール缶	紙パック	ダンボール				
奈良市	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	△	△	×
大和高田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×
大和郡山市	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	△	△	×
天理市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△
橿原市	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	△	△	×
桜井市	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	△	×	×
五條市	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×
御所市	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	△	△	△
生駒市	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×
香芝市	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	△	△	△
葛城市	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×
宇陀市	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	△	×	×
山添村	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×
平群町	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	△	△	×
三郷町	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	△	△	×
斑鳩町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×
安堵町	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	△	△	×
川西町	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	△	△	×
三宅町	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	△	△	△
田原本町	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	△	×	△
曽爾村	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	△	×	×
御杖村	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	△	△	×
高取町	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△
明日香村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×
上牧町	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○	△	△	×
王寺町	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	△	△	×
広陵町	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	△	△	×
河合町	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○	△	△	×
吉野町	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	△	△	×
大淀町	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×
下市町	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○	△	△	×
黒滝村	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×

天川村	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×
野迫川村	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×
十津川村	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	○	△	△	△
下北山村	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	△	△	×
上北山村	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	△	△	×
川上村	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	△	△	×
東吉野村	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	△	△	×

(平成18年12月現在)

※その他プラスチック：白色トレイ含む

※有害ごみ：電池、蛍光灯等。

※適正処理困難物：廃棄物処理法第6条の3第1項に基づく一般廃棄物の指定

(市町村の一般廃棄物の適正な処理が全国的に困難となっているもので、環境大臣により指定されているもの)

- (1) 廃ゴムタイヤ(自動車用のものに限る)
- (2) 廃テレビ受像器(25型以上のものに限る)
- (3) 廃電気冷蔵庫(250リットル以上の内容量を有するものに限る)
- (4) 廃スプリングマットレス

※ここでは、(1)及び(4)の受入れについて記載。

※特別管理一般廃棄物：ここでは、感染性一般廃棄物、PCB廃棄物及び廃石綿等の受入れについて記載。

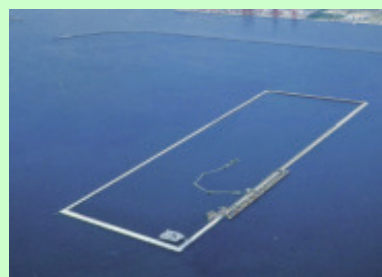
注) 収集日や分別の詳細につきましては、お住まいの市町村担当窓口にお問い合わせください。

【コラム⑩：大阪湾フェニックス計画】

私たちの毎日のくらしや、さまざまな産業活動から排出される膨大な量の廃棄物については、その発生抑制、再生利用、中間処理による減量化を進めた上で、適正な最終処分を行わなければなりません。しかし、近畿圏の内陸部はすでに高密度の土地利用が進み、個々の地方自治体や事業主が最終処分場を確保することは、きわめて困難な状況です。そこで長期安定的に、また広域的に廃棄物を適正処理するため生まれたのが大阪湾の埋立による「大阪湾フェニックス計画(大阪湾圏域広域処理場整備事業)」です。

大阪湾においてこの事業を実施するため、昭和56年に広域臨海環境整備センター法が制定されました。また、昭和57年には近畿2府4県、159市町村及び4港湾管理者の出資により大阪湾広域臨海環境整備センターが設立され、平成2年から廃棄物の受入れが開始されました。現在(平成19年1月)の計画では、2府4県177市町村が受入対象区域とされ、受入れ期限は平成33年までとされています。

奈良県では、平成19年1月現在で、県内39市町村のうち34市町村(12市15町7村)が受入対象区域となっています。



神戸沖埋立処分場

埋立場所：尼崎沖埋立処分場、泉大津沖埋立処分場
神戸沖埋立処分場、大阪沖埋立処分場(建設中)

(参考資料：大阪湾広域臨海環境整備センター)

(2) 処理料金 (家庭系)

市町村名	収集			直接搬入		
	可燃ごみ	不燃/資源ごみ	粗大ごみ	可燃ごみ	不燃/資源ごみ	粗大ごみ
奈良市				100kg 超 60 円/10kg		
大和高田市	45 円/45L 30 円/30L 15 円/15L		300 円/10kg (月 5 点)	65 円/5kg		
大和郡山市				100kg 超 105 円/10kg	525 円/個	
天理市				100kg 超 40 円/10kg		
橿原市	45 円/45L 30 円/30L 20 円/20L			100kg 超 10 円/kg 100kg 未満は、5 円/kg (可燃ごみのみ)		
桜井市	47 円/45L、30 円/30L、15 円/15L 資源ごみ：無料		品目別料金 (200~1500 円)	47 円/45L、30 円/30L、15 円/15L 上記以外の持ち込み：16 円/kg 資源ごみ：無料	品目別料金 (100~1000 円)	
五條市	50 円/大袋、25 円/小袋		500 円/品	60 円/10kg		
御所市	大 45 円/45L 中 30 円/30L 小 20 円/20L			100 円/10kg		
生駒市				100kg 超 50 円/10kg		
香芝市				100kg 超 100 円/10kg		
葛城市						
宇陀市	大 40 円/45L 小 30 円/30L	金属/プラスチック： 20 円/45L ガラス/陶器： 20 円/30L	100 円/シール	10~100kg： 30 円/10kg 100~250kg： 50 円/10kg 250kg 以上： 120 円/10kg	10~100kg： 30 円/10kg 100~250kg： 50 円/10kg 250kg 以上： 120 円/10kg	
山添村						
平群町				10 円/kg	15 円/kg	
三郷町				50kg 超 52 円/10kg		
斑鳩町	45 円/大 30 円/中 20 円/小	65 円/大 40 円/中 資源ごみ：無料	500~800 円/個 (種類ごと)	90 円/10kg (指定袋に収納 しない場合)	65 円/大 40 円/中 資源ごみ：無料	500~800 円/個 (種類ごと)
安堵町						
川西町				100kg 超 40 円/10kg		
三宅町	60 枚/年超 20 円/袋	20 枚/年超 20 円/袋		100kg 超 40 円/10kg		
田原本町	20 円/20L 30 円/30L 45 円/45L			50 円/10kg (資源ごみは無料)		
曽爾村	100 円/シール 50 円/45L 30 円/30L	缶 50 円/45L びん 30 円/45L	100 円/シール	5 円/kg (指定袋、シール以外)		5 円/kg (指定袋、シール以外)
御杖村	100 円/シール 50 円/45L 30 円/30L	缶 30 円/45L びん 30 円/35L	100 円/シール	5 円/kg (指定袋、シール以外)		5 円/kg (指定袋、シール以外)
高取町	40 円/袋	60 円/袋	500 円/シール小 1,000 円/シール大			

明日香村			個別リクエスト は、分類別で有料	100kg 超 100 円/10kg		個別リクエスト は、分類別で有料
上牧町	45 円/45L 30 円/30L 10 円/10L	45 円/45L 30 円/30L	200 円~/1 点 (リクエスト収集)	15 円/kg	15 円/kg 資源ごみ：無料	200 円~/1 点
王寺町				100kg 超 10 円/kg		
広陵町	45 円/45L 30 円/30L 20 円/20L	45 円/45L 30 円/30L		100kg 超 3 円/kg		
河合町	15 円/45L	15 円/45L		5 円/kg	10 円/kg	
吉野町	50 円/45L 袋	50 円/45L 袋	100 円/シール	6.3 円/kg		
大淀町	47 円/袋 31 円/袋	63 円/kg 31 円/袋		60 円/10kg		
下市町	50 円/大袋 30 円/小袋	不燃：60 円/袋 資源：30 円/大 20 円/小	80 円/シール	2,000 円/トン		
黒滝村	50 円/袋	50 円/袋	100 円/シール			
天川村	100 円/袋	100 円/袋	200 円/シール			
野迫川村		150 円/袋				
十津川村	30 円/40L 袋 15 円/20L 袋	30 円/40L 袋 15 円/20L 袋	100 円/シール	50 円/10kg		
下北山村	40 円/枚	50 円/枚	100 円/枚	50 円/kg		
上北山村	400 円/45L・10 枚 300 円/30L・10 枚	(不燃) 500 円/30L・10 枚 (カン) 500 円/45L・10 枚 (ビン) 500 円/30L・10 枚	100 円/枚	50 円/kg		
川上村	50 円/45L		100 円/シール	6.3 円/kg		
東吉野村	50 円/袋	50 円/袋	100 円/枚	6.3 円/kg		

(平成 18 年 12 月現在)

【コラム⑩：ゼロエミッションとは？】

ゼロエミッションとは、1994 年に国連大学のグンター・パウリ氏(Gunter Pauli)を中心としたグループが提唱した「ゼロエミッション研究構想」の中で示されたもので、「自然界の植物連鎖をお手本に、産業から排出されるすべての廃棄物や副産物が、他の産業の資源として活用され、社会全体として廃棄物を生み出さない生産を目指そうとする」という考え方に基づいています。

環境管理の国際規格 ISO14001 の普及にともない、事業所や工場の「ゼロエミッション」に取り組む企業が増えています。この場合のゼロエミッションは、「廃棄物を徹底分別しリサイクルを促進することで、焼却や単純埋立てによって処分する産業廃棄物をなくす」という意味で使われており、一般的には「ゼロエミッション＝廃棄物ゼロ」と理解されています。

また、ゼロエミッションは、資源循環型社会を構築するためのコンセプトであり、具体的には、A 社の副生産物を B 社の原材料に転換し、B 社の廃棄物を C 社の再生資源に転換するというふうに、1 社だけではなく、複数の企業が連携し、産業連関をつくりだしていこうとするもので、産業界全体、広域行政区域全体で共同で取り組むことによって実現することができるのです。さらに、ゼロエミッションは、ただ単にリサイクルによる資源の有効利用にとどまらず、環境廃棄物処理に伴って発生する温室効果ガスの削減にもつながり、循環型社会の構築に必要な不可欠なものと考えられています。

(3) 処理料金（事業系）

市町村名	収集			直接搬入		
	可燃ごみ	不燃/資源ごみ	粗大ごみ	可燃ごみ	不燃/資源ごみ	粗大ごみ
奈良市	競争料金			100円/10kg		
大和高田市				65円/5kg		
大和郡山市				105円/10kg		
天理市				100円/10kg		
橿原市				13円/kg		
桜井市	140円/45L			16円/kg（可燃、不燃）		
五條市	50円/大袋					
御所市				100円/10kg（～290kg） 150円/10kg（300kg～）		
生駒市				50円/10kg		
香芝市	100円/10kg			100円/10kg		
葛城市				10円/kg		
宇陀市	大 300円/90L 小 150円/45L					
山添村						
平群町				10円/kg	15円/kg	
三郷町				105円/10kg		
斑鳩町				100円/10kg		
安堵町	無料			無料		
川西町				30円/kg	50円/kg	
三宅町	20円/枚					
田原本町	135円/45L 210円/70L			130円/10kg	資源ごみ：無料	
曽爾村						
御杖村						
高取町						
明日香村				100円/10kg		
上牧町				15円/kg		
王寺町	10円/kg			10円/kg		
広陵町				～300kg：10円/kg 300kg～：15円/kg		
河合町				10円/kg		
吉野町	50円/45L袋	50円/45L袋	100円/シール	15.8円/kg		
大淀町	84円/袋			～500kg：100円/10kg ～2,000kg：150円/10kg 2,000kg超：200円/10kg		
下市町	50円/大袋 30円/小袋	不燃：60円/袋 資源：30円/大 20円/小	80円/シール	2,000円/トン		
黒滝村	50円/袋	50円/袋	100円/シール			

天川村						
野迫川村		150 円/袋				
十津川村	30 円/40L 袋 15 円/20L 袋	30 円/40L 袋 15 円/20L 袋	100 円/シート	50 円/10kg		
下北山村	40 円/枚	50 円/枚	100 円/枚	50 円/kg		
上北山村						
川上村						
東吉野村						

(平成 18 年 12 月現在)

【コラム⑫: LOHAS とは?】

LOHAS (ロハス/ローハス) とは、「Lifestyles of Health and Sustainability (健康と地球の持続可能性を志向するライフスタイル)」の略で、日本では、2002 年 9 月に新聞などで紹介されたことで知られるようになり、「健康や環境問題に関心の高い人々」の総称として、また「健康で持続可能なライフスタイル」そのものを指すものとされています。

元来、LOHAS は、1998 年にアメリカの社会学者ポール・レイと心理学者のシェリー・アンダーソンが、15 年にもわたる調査により、カルチュラル・クリエイティブズ (Cultural Creatives) と呼ばれる環境や健康への意識が高い人々の存在を確認したことを元に、レイと起業家のシルカ・リサビ (後の GAIAM 創業者) が協力して開発したマーケティングコンセプトです。つまり、健康や環境、社会正義、自己現実や持続可能なライフスタイルを重視する消費者にとって魅力的なモノやサービスを扱う市場をあらわす言葉です。

LOHAS 市場の 5 つのカテゴリー

1. 持続可能な経済 (Sustainable economy)
省エネ商品、代替エネルギーなど
2. 健康的なライフスタイル (Healthy lifestyle)
オーガニック・自然食品、サプリメントなど
3. 代替ヘルスケア (Alternative healthcare)
自然治癒、はり治療など
4. 自己開発 (Personal development)
ヨガ、フィットネス、能力開発など
5. 環境を配慮したライフスタイル (Ecological lifestyle)
環境配慮住宅、リフォーム、エコ商品など

(4) 集団回収/堆肥化处理機等補助制度

市町村名	集団回収		堆肥化处理機等補助		その他
	集団回収団体助成	再生利用事業者助成	対象品目	補助率/限度額	
奈良市			電気式処理機 非電気式	1/2、10,000円 1/2、5,000円	
大和高田市	4円/kg		電気式処理機 非電気式	1/2、25,000円 1/2、2,000円	廃油回収（一部）
大和郡山市	3円/kg	2円/kg	電気式処理機 非電気式	1/2、30,000円 1/2、3,000円	廃油回収（一部） リサイクル文庫 設置事業等
天理市	4円/kg		電気式処理機	1/2、30,000円	
橿原市	5円/kg		電気式処理機 非電気式	1/2、18,000円 1/2、2,700円	廃油回収（一部）
桜井市	3円/kg 4円/kg（直接）		電気式処理機 非電気式	1/2、20,000円 1/2、3,000円	
五條市	10万円/団体				
御所市	3円/kg 6円/kg（直接）		電気式処理機 非電気式	1/3、15,000円 1/3、2,000円	
生駒市	4円/kg	1円/kg	電気式処理機 非電気式	1/2、50,000円 1/2、3,000円	エコハート登録認定 制度、
香芝市	3円/kg		電気式処理機 非電気式	1/2、20,000円 1/2、3,000円	
葛城市	5円/kg		電気式処理機	1/2、30,000円	
宇陀市					
山添村		2円/kg			
平群町	5円/kg		電気式処理機 非電気式	1/2、10,000円 1/2、3,000円	
三郷町	5円/kg		電気式処理機 ボカシ原料	1/3、20,000円 2/3、2,000円	
斑鳩町	5円/kg		電気式処理機 非電気式 ボカシ原料	1/2、20,000円 1/2、3,000円 1/2、2,000円	廃油回収
安堵町	資源有価物集団回収 団体協会補助金				
川西町	7~10円/kg		電気式処理機 非電気式	1/2、30,000円 2/3、10,000円	
三宅町	5円/kg	2円/kg			廃油回収（一部）
田原本町	5円/kg		電気式処理機	1/2、20,000円	廃油回収（一部）
曾爾村	3円/kg				
御杖村					
高取町	2円/kg				
明日香村			非電気式 ボカシ原料	100%、1,200円 100%、3,000円	廃油回収
上牧町	2円/kg	1円/kg	ボカシ原料	100%	

王寺町	5 円/kg		ボカシ原料	100%	廃油回収（一部）
広陵町	5 円/kg		電気式生ごみ処理機 非電気式生ごみ処理機 ボカシ原料	1/2、50,000 円 1/2、5,000 円 1/2、1,000 円	
河合町	1 円/kg（各戸） 2 円/kg（ステーション）				
吉野町					
大淀町	3 円/kg	2 円/kg			
下市町					
黒滝村					
天川村					
野迫川村			電気式処理機	2/3、70,000 円	
十津川村			電気式処理機 非電気式	1/2、30,000 円 1/2、30,000 円	
下北山村					
上北山村					
川上村					
東吉野村					

（平成 18 年 12 月現在）